

総務編



消 防 の 沿 革

昭和45年、国の広域行政推進の一環により、昭和45年10月1日小林・えびの・西諸広域市町村圏協議会が発足し、広域市町村基本構想、基本計画（昭和46年～昭和55年の10ヶ年）が示され、共同処理事務として、消防防災救急体制等が打ち出された。これに基づき昭和46年7月28日西諸広域行政事務組合が発足、広域事務がスタートを切った。

消防については、圏域内で常備体制をとっていたのは小林市のみで、他の市町村は非常備消防団として運営していたが社会情勢の推移に伴い、災害の複雑多岐・多様化・大規模化と地域住民の過疎による消防力の不足、一方災害の防除に対し専門的技術の必要性及び救急業務の処理等消防行政の専門化、広域化、そして常備化の必要から、昭和47年10月26日付けで、共同処理事務に消防業務が加えられ、西諸広域行政事務組合消防本部が発足することとなった。

- 昭和47. 10. 26 小林市、えびの市、高原町、野尻町、須木村の2市2町1村で、西諸広域行政事務組消防本部が発足。
小林市に消防本部（庶務係・予防係）及び中央消防署、高原町に中央消防署南分遣所、野尻町に中央消防署東分遣所、須木村に中央消防署北分遣所、えびの市に西消防署を設置、前小林市消防職員29名を派遣職員として、消防本部及び中央消防署に配属し実働に入る。
窪谷達郎氏が消防長心得に就任
- 昭和47. 11. 1 消防職員34名採用、消防本部に警防係を設置し庶務係、予防係の3係となる。
- 昭和48. 3. 1 消防職員1名採用
- 昭和48. 3. 25 水槽付消防ポンプ自動車（1.5t積載）2台購入、西消防署と中央消防署南分遣所に配置、救急車1台購入西消防署に配置
- 昭和48. 3. 31 中央消防署南分遣所庁舎、同東分遣所庁舎が完成
- 昭和48. 4. 1 消防本部9名、中央消防署22名、同南分遣所8名、同東分遣所5名、西消防署14名で（西消防署は庁舎未完成のため、えびの市役所庁舎の一部を仮庁舎として）実働に入る。
- 昭和48. 4. 5 窪谷達郎消防長心得が中央消防署長となる。
新留時盛氏消防長就任、派遣職員4名小林市へ復帰、消防職員3名採用
- 昭和48. 4. 15 中央消防署北分遣所庁舎が完成し、中央消防署の予備車を配置し消防職員4名で実働に入る。
- 昭和48. 4. 20 消防職員9名採用
- 昭和48. 4. 28 連絡車（軽ライトバン）購入、消防本部に配置
- 昭和48. 5. 4 消防職員1名採用
- 昭和48. 5. 19 派遣職員4名小林市へ復帰
- 昭和48. 6. 4 消防職員4名採用
- 昭和48. 6. 6 西消防署庁舎が完成
- 昭和48. 6. 16 宮崎県農協共済組合連合会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置
- 昭和48. 7. 2 消防職員6名採用
- 昭和48. 7. 6 消防職員1名退職
- 昭和48. 8. 20 派遣職員3名小林市へ復帰
- 昭和48. 9. 1 消防職員4名採用
- 昭和48. 10. 11 派遣職員4名小林市へ復帰

昭和48.	10.	15	消防職員1名採用
昭和48.	11.	20	消防ポンプ自動車購入、西消防署に配置
昭和48.	12.	25	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、中央消防署東分遣所・同北分遣所に配置
昭和49.	3.	11	消防職員3名採用
昭和49.	5.	7	派遣職員7名小林市へ復帰
昭和49.	5.	10	消防職員5名採用
昭和49.	10.	1	消防職員2名採用
昭和50.	1.	8	派遣職員1名小林市へ復帰
昭和50.	1.	9	消防職員1名採用
昭和50.	5.	27	連絡車(軽ライトバン)2台購入、西消防署及び中央消防署東分遣所に配置
昭和50.	5.	31	新留時盛消防長退職
昭和50.	6.	1	窪谷達郎氏中央消防署長兼消防長心得となる
昭和50.	7.	1	派遣職員1名小林市へ復帰、小林市から1名派遣
昭和51.	3.	6	高速道路供用開始に伴う高速道路救急業務開始
昭和51.	7.	10	連絡車(軽ライトバン)2台購入、中央消防署南分遣所及び同北分遣所に配置
昭和51.	9.	11	日本船舶振興会から救急車(2B型)1台寄贈、中央消防署南分遣所に配置
昭和51.	10.	1	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(A-1級)1台寄贈、西消防署に配置 旧消防ポンプ自動車をえびの市消防団第1分団第7部へ移管
昭和51.	12.	6	消防本部並びに中央消防署庁舎用地購入(5,860㎡) (住所)小林市大字真方493番地
昭和51.	12.	16	水槽付消防ポンプ自動車(A-2級2t積載)1台購入、中央消防署に配置 消防専用無線機購入、車載携帯兼用10W4基 西消防署、中央消防署南・東・北各分遣所の査察広報車に搭載
昭和52.	3.	3	消防職員1名退職
昭和52.	5.	16	消防職員7名採用
昭和52.	10.	25	消防本部及び中央消防署庁舎の建設工事着工
昭和52.	11.	1	派遣職員5名、派遣を解き西諸広域行政事務組合消防職員に任命
昭和53.	2.	28	消防職員1名退職
昭和53.	3.	25	消防本部及び中央消防署庁舎が完成(延1,063.971㎡)
昭和53.	4.	1	消防職員1名採用
昭和54.	2.	20	窪谷達郎消防長心得が消防長となる
昭和54.	4.	5	派遣職員1名小林市へ復帰
昭和54.	6.	25	連絡車購入、消防本部へ配置
昭和55.	5.	19	消防職員2名採用
昭和55.	10.	15	指令車購入、消防本部へ配置
昭和56.	3.	17	高原町～都城市間高速道路供用開始に伴い、同区間の救急業務開始
昭和56.	5.	21	消防職員1名採用
昭和56.	6.	1	消防職員1名退職
昭和56.	9.	25	日本消防協会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置

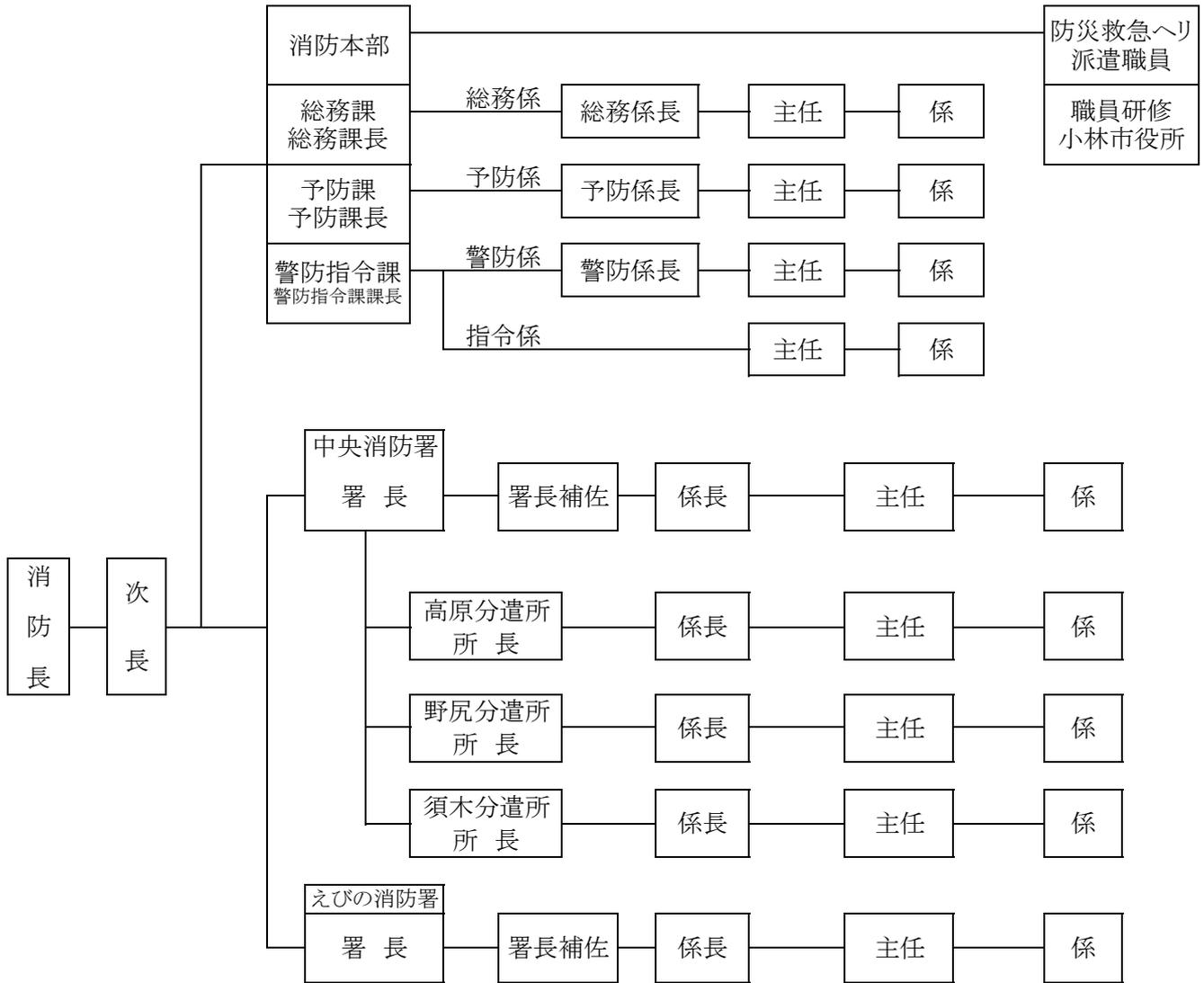
昭和56.	9.	26	えびの市～鹿児島県栗野町間の高速道路供用開始に伴い、同区間の救急業務開始
昭和57.	3.	31	窪谷達郎消防長定年退職
昭和57.	4.	1	別府鉄朗小林市助役が消防長事務取扱者を兼任
昭和57.	4.	19	宮崎県共済農業協同組合連合会から救急車2台寄贈 西消防署と中央消防署南分遣所に配置 中央消防署南分遣所の旧救急車を中央消防署に配置
昭和57.	11.	2	消防職員1名退職
昭和58.	4.	25	森祐一郎小林市長が消防長事務取扱者を兼任
昭和58.	7.	1	松田利夫氏が小林市から消防長心得として出向
昭和59.	2.	1	消防職員1名採用
昭和59.	7.	10	消防本部査察広報車(予防車)購入
昭和59.	10.	29	消防ポンプ自動車(CD-II)購入、中央消防署に配置
昭和60.	4.	1	松田利夫消防長心得が消防長となる
昭和60.	8.	31	消防職員1名退職
昭和60.	12.	20	水槽付消防ポンプ自動車(水1-A型)購入 中央消防署北分遣所に配置
昭和60.	12.	24	大口市外三町消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
昭和61.	1.	26	松田利夫消防長小林市へ復帰
昭和61.	1.	27	中山藤作氏が小林市から消防長として出向
昭和61.	3.	20	水槽付消防ポンプ自動車(水II型)を2台更新 西消防署と中央消防署南分遣所に配置
昭和61.	4.	1	熊本県上球磨消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
昭和61.	4.	18	宮崎県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置
昭和61.	5.	1	消防職員1名採用
昭和61.	7.	10	査察広報車2台購入(1,800cc) 中央消防署南分遣所・中央消防署北分遣所に配置
昭和61.	7.	24	人吉下球磨消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
昭和61.	7.	31	査察広報車2台購入(1,800cc) 西消防署・中央消防署東分遣所に配置
昭和61.	12.	26	水槽付消防ポンプ自動車(水II型)更新、中央消防署東分遣所に配置
昭和62.	5.	4	消防職員1名退職
昭和62.	6.	30	中山藤作消防長小林市へ復帰
昭和62.	7.	1	角井勇消防本部次長が消防長に就任
昭和63.	3.	31	角井勇消防長退職
昭和63.	4.	1	内竹孝雄氏が小林市から消防長心得として出向、消防職員2名採用
昭和63.	9.	9	西諸・えびの地区遊技場組合から救急車1台寄贈、西消防署へ配置
平成元.	3.	27	救急車更新、中央消防署南分遣所に配置
平成元.	8.	1	内竹孝雄消防長心得が消防長となる
平成元.	10.	4	査察広報2号車1台購入、消防本部に配置
平成元.	11.	30	消防職員1名退職
平成元.	12.	8	消防ポンプ自動車(BD-1型)更新、西消防署に配置
平成元.	12.	26	水槽付消防ポンプ自動車(水II型)更新、中央消防署に配置
平成2.	1.	1	消防職員1名採用
平成2.	3.	15	救助工作車購入
平成2.	3.	31	消防職員2名定年退職

平成	2.	4.	1	消防職員 2 名採用
平成	3.	3.	3 1	救急車更新、中央消防署に配置
平成	3.	8.	2 3	日本消防協会から救急車 1 台寄贈、中央消防署に配置
平成	4.	2.	2 9	指令車更新、消防本部に配置
平成	4.	3.	3 1	内竹孝雄消防長小林市に復帰。消防職員 1 名定年退職
平成	4.	4.	1	清水常喜消防本部次長が消防長となる。消防職員 3 名採用
平成	4.	9.	1	消防職員 1 名採用
平成	4.	1 1.	1 9	消防職員 1 名退職
平成	5.	4.	1	消防職員 5 名採用
平成	5.	1 0.	1 5	中央消防署南分遣所改築工事着工（7 工区）
平成	5.	1 0.	2 6	西諸広域行政事務組合消防設立 2 0 周年式典
平成	6.	2.	1 5	組合規約の改正により「理事制」となる
平成	6.	3.	2 0	中央消防署南分遣所改築工事が完了「鉄骨造、2 階建」 仮眠室の個室化（延床面積 7 3 2. 2 m ² ）
平成	6.	3.	2 9	救急車更新、西消防署に配置
平成	6.	3.	3 1	清水常喜消防長定年退職
平成	6.	4.	1	山下末男消防本部次長が消防長となる。消防職員 5 名採用
平成	6.	1 2.	2 0	消防本部査察広報車（予防車更新）
平成	7.	4.	1	消防職員 5 名採用
平成	7.	4.	1 7	宮崎県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台寄贈 中央消防署南分遣所に配置 旧南分遣所の救急車を高原町立病院へ移管
平成	7.	4.	2 5	組合規約の改正により議員定数 1 2 名となる
平成	7.	7.	2 4	高速自動車国道の加久藤トンネル開通に伴う、えびの・人吉市間の救急 業務供用開始
平成	7.	1 2.	8	高規格救急自動車購入、中央消防署に配置
平成	8.	4.	1	消防職員 2 名採用
平成	9.	1.	2 2	査察広報車 5 台更新（中央・西消防署、南・東・北分遣所に配置）
平成	9.	3.	3 1	山下末男消防長退職
平成	9.	4.	1	鷗野富吉消防本部次長が消防長となる。消防職員 7 名採用
平成	9.	1 0.	2 8	中央消防署東分遣所庁舎移転新築工事の着工
平成	9.	1 2.	2 2	消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配置 高規格救急自動車購入、西消防署に配置
平成	1 0.	3.	1 0	中央消防署東分遣所移転新築工事が完了 仮眠室の個室化「鉄骨造、一部 2 階建」（床延面積 7 6 1. 0 m ² ）
平成	1 0.	4.	1	救急自動車（救西 1）を中央消防署東分遣所に配置 小林西諸パチンコ遊技場組合から査察広報車 1 台寄贈、消防本部に配置
平成	1 0.	1 2.	1	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署北分遣所に配置
平成	1 1.	3.	1	高規格救急自動車購入、中央消防署東分遣所に配置
平成	1 1.	3.	3 1	鷗野富吉消防長退職。消防職員 1 名退職
平成	1 1.	4.	1	鵜木義幸氏が小林市から消防長心得として出向 消防本部組織改正により 3 係制（庶務係・警防係・予防係）を 2 課制へ（総務課・予防課） 中央消防署を除く各署所を設置先市町村名に改名（えびの消防署・ 中央消防署高原分遣所・中央消防署野尻分遣所・中央消防署須木分遣所） 消防職員 1 名採用

平成11.	6.	30	高規格救急自動車購入、中央消防署高原分遣所に配置
平成11.	8.	2	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、えびの消防署に配置
平成11.	11.	11	中央消防署須木分遣所庁舎移転新築工事の着工
平成12.	3.	25	中央消防署須木分遣所庁舎移転新築工事が完了 仮眠室の個室化「鉄骨造、平屋建」（床延面積442.54㎡）
平成12.	7.	26	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署野尻分遣所に配置
平成12.	8.	8	えびの消防署庁舎移転新築工事の着工
平成12.	12.	15	消防ポンプ自動車（CD-1型）更新、えびの消防署に配置
平成13.	2.	21	えびの消防署庁舎移転新築工事が完了 仮眠室の個室化「鉄骨造、2階建」（床延べ面積832.2㎡）
平成13.	4.	1	鶴木義幸消防長心得が消防長となる。
平成13.	9.	20	中央消防署庁舎の増改築及び改修工事の着工
平成13.	12.	18	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署高原分遣所に配置
平成14.	3.	20	中央消防署庁舎の増改築及び改修工事が完了 仮眠室の個室化「鉄骨造、2階建及び既存庁舎の改修」 （床面積387.52㎡、延床面積1,421.49㎡）
平成14.	3.	31	鶴木義幸消防長が小林市に復帰。事務吏員1名退職
平成14.	4.	1	貴嶋俊介消防本部次長が消防長となる。消防職員2名採用
平成14.	9.	9	消防本部・中央消防署庁舎の防水及び外壁塗替え工事着工
平成14.	11.	27	消防本部・中央消防署庁舎の防水及び外壁塗替え工事完了
平成14.	12.	24	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署に配置
平成15.	1.	31	消防職員1名退職
平成15.	4.	1	西諸広域行政事務組合職員定数条例一部改正により消防職員定数を 109名から126名に改正（平準化） 消防職員1名採用
平成15.	9.	1	中央消防署須木分遣所の救急車配置に伴い高原分遣所・野尻分遣所から 各2名異動
平成15.	9.	11	救急自動車（2B型）新規購入 中央消防署須木分遣所に配置し救急業務運用開始
平成16.	2.	23	救助工作車更新（大型1種免許）、中央消防署に配置
平成16.	4.	1	消防職員4名採用（平準化）
平成16.	10.	1	宮崎県防災救急ヘリ航空隊発足により隊員1名派遣
平成17.	2.	7	寄贈高規格救急自動車更新、中央消防署に配置
平成17.	4.	1	消防職員4名採用（平準化）
平成17.	10.	17	救助訓練塔起工式
平成18.	3.	15	救助訓練塔完成
平成18.	3.	20	小林市と須木村が合併し新小林市誕生
平成18.	1.	31	消防職員1名退職
平成18.	4.	1	消防職員4名採用（平準化）
平成18.	4.	1	セパレート型防火服採用
平成18.	6.	30	消防職員1名退職
平成18.	10.	2	中央消防署食堂改修工事終了
平成19.	3.	31	消防職員1名退職
平成19.	3.	31	宮崎県防災救急ヘリ航空隊員1名、前任者と交替派遣
平成19.	4.	1	隔日勤務組織改革（係制）
平成19.	4.	1	消防職員4名採用（平準化）

平成19.	10.	2	消防本部・中央消防署公共下水道接続工事終了
平成19.	10.	4	消防職員1名退職
平成19.	11.	15	えびの消防署高規格救急車更新
平成19.	12.	14	多目的資機材搬送車購入、中央消防署に配置
平成19.	12.	17	野尻分遣所公共下水道接続工事終了
平成20.	3.	31	消防職員4名退職
平成20.	4.	1	消防職員4名採用（平準化）
平成20.	7.	4	大淀川左岸地区かんがい用水施設（野尻町区域分）の使用等に関する管理協定書締結
平成20.	8.	4	消防本部空調設備改修工事完了
平成21.	3.	31	消防職員8名退職
平成21.	4.	1	消防職員5名採用（平準化）
平成21.	11.	10	災害対応特殊消防ポンプ自動車更新 中央消防署に配置
平成21.	12.	10	災害対応特殊救急自動車更新 中央消防署に配置
平成21.	12.	25	岩下兄弟株式会社より消防用広報車寄贈 消防本部に配置
平成22.	3.	23	小林市と野尻町が合併し新小林市誕生
平成22.	1.	26	消防職員1名退職
平成22.	3.	31	消防職員6名退職
平成22.	4.	1	原田利男消防本部次長が消防長となる。消防職員6名採用（平準化）
平成22.	6.	10	高機能消防指令センター総合整備事業の着工
平成22.	11.	16	消防本部指令室等改築工事終了
平成22.	12.	15	査察広報車更新、えびの消防署に配置
平成22.	12.	31	消防職員1名退職
平成23.	3.	1	高機能消防指令センター運用開始
平成23.	3.	14	宮崎県緊急消防援助隊として車両2台、隊員8名の2隊を派遣
平成23.	3.	21	宮崎県緊急消防援助隊として派遣した2隊が帰隊
平成23.	3.	31	消防職員5名退職
平成23.	4.	1	里岡弘幸消防本部次長が消防長となる。消防職員10名採用（平準化）
平成23.	9.	12	野尻分遣所地上消火栓・庁舎浴室給水栓取替工事完了 消防本部救急救助訓練塔壁板張替工事完了
平成24.	3.	22	指揮車購入、消防本部に配備
平成24.	3.	31	消防職員10名退職
平成24.	4.	1	柚木脇充消防本部警防指令課課長が消防長となる。 消防職員6名採用（平準化）
平成24.	10.	25	高規格救急自動車更新、野尻分遣所に配置

消防の組織と配置職員数



(消防本部・各署所の人員)

区分 \ 署所	消防本部	中央消防署	えびの消防署	高原分遣所	野尻分遣所	須木分遣所	・防災救急へり ・市役所派遣職員	救命士研修所	合計
人員	24	31	23	13	11	10	2	1	115

※中央消防署署長は須木分遣所長を兼務

(消防職員階級別配置表)

署所 \ 階級	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
消防本部	1	3	3	2	12 (2)	1	4		26 (2)
中央消防署		1	1	2	14	1	13 (1)		32 (1)
えびの消防署		1	1	1	6	2	12		23
高原分遣所			1	1	5	2	4		13
野尻分遣所			1	1	2	2	5		11
須木分遣所					7	1	2		10
計	1	5	7	7	46	9	40	0	115

※消防本部の(2)は、防災救急へり派遣職員1名 小林市職員研修1名

※中央消防署の(1)は、救命士研修所入校職員1名

消防本部及び署所の事務分掌

総務課

総務係

1. 消防予算の編成及び執行に関すること。
2. 補助金等の編成及び執行に関すること。
3. 公印の管理に関すること。
4. 職員の人事・給与事務及び表彰に関すること。
5. 職員の勤務条件・福利厚生及び労働安全衛生に関すること。
6. 公務災害補償等に関すること。
7. 消防職員委員会に関すること。
8. 文書の收受、発送並びに保存に関すること。
9. 消防手数料に関すること。
10. 消防の財産に関すること。
11. 消防庁、その他各種の統計調査に関すること。
12. 消防関係条例、規則その他諸規程に関すること。
13. 課内の庶務に関すること。
14. その他、他の課及び係に属さないこと。

警防指令課

1. 消防用車両購入、車検その他機械器具の維持管理に関すること。
2. 水火災の警戒及び救急救助業務に関すること。
3. 救急救助の統計に関すること。
4. 消防用水利の調査保全に関すること。
5. 消防団に関すること。
6. 火災警報、気象、その他災害の情報連絡に関すること。
7. 相互応援協定に関すること。
8. 緊急通報設備に関すること。
9. 各種免許に関すること。
10. 消防教養に関すること。
11. 消防職員の健康診断に関すること。
12. その他警防業務に関すること。

予防課

予防係

1. 予防査察、指導に関すること。
2. 火災予防の普及、及び啓蒙に関すること。
3. 消防用設備等の設置及び検査に関すること。
4. 防火管理者及び防火対象物点検資格者に関すること。
5. 危険物の許認可及び取締に関すること。
6. 液化石油ガス及び火薬施設の保全確保に関すること。
7. 火災の原因及び損害の調査報告に関すること。
8. 水火災の統計記録に関すること。
9. 防火対象物の違反処理に関すること。
10. 防火対象物及び設備等の統計事務に関すること。
11. 防火対象物点検報告に関すること。
12. 消防用設備等の点検報告に関すること。
13. 予防技術資格者制度に関すること。
14. 防火対象物の消防計画及び指導に関すること。
15. 文書の收受及び保存に関すること。
16. 課内の庶務に関すること。
17. その他予防業務に関すること。

消 防 署

- (1) 庶務係
 - ア 公印の管理に関する事。
 - イ 届出及び証明に関する事務並びに文書の收受、発送及び整理保存に関する事。
 - ウ 消防手数料に関する事。
 - エ 諸手当の集計に関する事。
 - オ 消防団との連絡調整に関する事。
 - カ 消防施設及び機械器具等の維持管理に関する事。
 - キ その他署長が命令する事項。
- (2) 救急救助係
 - ア 救急救助業務の企画に関する事。
 - イ 救急救助装備、資機材整備に関する事。
 - ウ 救助技術の研究及び訓練に関する事。
 - エ 救急救命講習等の普及啓蒙に関する事。
 - オ 救急救助に関する統計に関する事。
 - カ その他署長が命令する事項。
- (3) 予防調査係
 - ア 火災調査及び火災統計に関する事。
 - イ 防火対象物の調査及び指導並びに違反処理に関する事。
 - ウ 火災予防条例に規定に伴う調査及び指導に関する事。
 - エ 消防に関する調査研究、その他各種事故等の調査に関する事。
 - オ その他署長が命令する事項。

分 遣 所

- (1) 消防係
 - ア 公印の管理に関する事。
 - イ 届出及び証明に関する事務並びに文書の收受、発送及び整理保存に関する事。
 - ウ 消防手数料に関する事。
 - エ 諸手当の集計に関する事。
 - オ 消防団との連絡調整に関する事。
 - カ 消防施設及び機械器具等の維持管理に関する事。
 - キ 救急救助業務の企画に関する事。
 - ク 救急救助装備、資機材整備に関する事。
 - ケ 救助技術の研究及び訓練に関する事。
 - コ 救急救命講習等の普及啓蒙に関する事。
 - サ 救急救助に関する統計に関する事。
 - シ 火災調査及び火災統計に関する事。
 - ス 防火対象物の調査及び指導並びに違反処理に関する事。
 - セ 火災予防条例に規定に伴う調査及び指導に関する事。
 - ソ 消防に関する調査研究、その他各種事故等の調査に関する事。
 - タ その他署長が命令する事項。

常備消防構成団体

市 町	市 町 長 名	市 町 庁 舎 所 在 地
小 林 市	肥 後 正 弘	小林市細野300番地
えびの市	村 岡 隆 明	えびの市大字栗下1292番地
高 原 町	日 高 光 浩	高原町大字西麓899番地

消防本部、署（所）の名称・位置・管轄区域

名 称	位 置	管 轄 区 域
消防本部	小林市真方493番地	小林市・えびの市・高原町
中央消防署	小林市真方493番地	小林市・えびの市・高原町
中 央 消 防 署	高原分遣所	西諸県郡高原町大字西麓174番地
	野尻分遣所	小林市野尻町東麓1147番地1
	須木分遣所	小林市須木中原1696番地16
えびの消防署	えびの市大字大明司863番地1	小林市・えびの市・高原町

(注) 高速道路（九州自動車道及び宮崎自動車道）の管轄区域については警防編に記載

消防庁舎の概要

消防本部・中央消防署

				
(中央消防署は消防本部に併設)		個室仮眠室		
所在地	竣工年度	構造	延床面積 m ²	敷地面積 m ²
小林市真方493	昭和52年度	鉄筋コンクリート造 2階建PH付 一部鉄骨造	1,421.49	5,689.97

えびの消防署

				
		個室仮眠室		
所在地	竣工年度	構造	延床面積 m ²	敷地面積 m ²
えびの市大字大明司863-1	平成12年度	鉄骨造2階建	832.20	3,854.00

高原分遣所

				
		個室仮眠室		
所在地	竣工年度	構造	延床面積 m ²	敷地面積 m ²
高原町大字西麓174	平成5年度	鉄骨造2階建	732.20	1,559.72

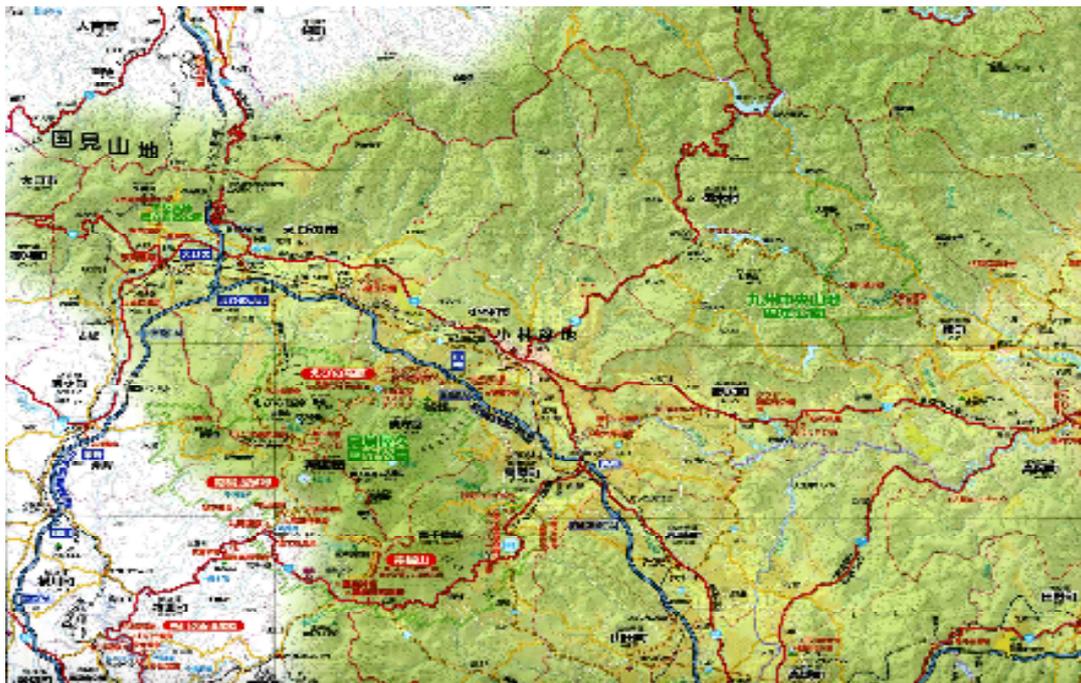
野尻分遣所

				
		個室仮眠室		
所在地	竣工年度	構造	延床面積 m ²	敷地面積 m ²
小林市野尻町東麓1147-1	平成9年度	鉄骨造2階建	761.00	1,953.25

須木分遣所

				
		個室仮眠室		
所在地	竣工年度	構造	延床面積 m ²	敷地面積 m ²
小林市須木中原1696-16	平成11年度	鉄骨造平屋建	442.54	1,081.40

西諸広域行政事務組合消防本部管内図



消防車・消防職員等に対する人口等割合

区 分	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)
職 員 1 人 当 たり	695	284	8.10
消 防 自 動 車 1 台 当 たり	11,416	4,667	133.07
救 急 車 1 台 当 たり	13,319	5,445	155.25
署 所 1 ヶ 所 当 たり	15,982	6,534	186.29

◎消防吏員(115名)・消防自動車(7台)・救急自動車(6台)・署所(5)・本圏域面積931.47km²

消防費と世帯・人口との割合

区 分	人 口	世帯数	消防費(千円)	1世帯当たり(円) 消防費	1人当たり(円) 消防費
市町村					
小 林 市	48,294	19,577	746,988	38,156	15,468
え び の 市	21,616	9,049	348,183	38,478	16,108
高 原 町	10,001	4,042	192,991	47,746	19,297
西諸広域全体	79,911	32,668	1,288,162	39,432	16,120

(平成23年度決算額を計上)

(平成22年国勢調査の人口・世帯数)

消防費基準財政需要額と消防費の割合

(単位:千円)

小 林 市	年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	区分				
A	消防費基準財政需要額(決算額)		744,601	782,154	769,282
B	消防費決算額(決算額)		763,022	755,092	746,988
C	Bのうち消防費負担金(決算額)		572,020	570,190	560,279
		B/A %	102.5	96.5	97.1
		C/B %	75.0	75.5	75.0
		C/A %	76.8	72.9	72.8

※平成21年度野尻町と合併

(単位:千円)

え び の 市	年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	区分				
A	消防費基準財政需要額(決算額)		354,145	374,923	355,163
B	消防費決算額(決算額)		342,913	315,712	348,183
C	Bのうち消防費負担金(決算額)		260,460	264,288	251,496
		B/A %	96.8	84.2	98.0
		C/B %	76.0	83.7	72.2
		C/A %	73.5	70.5	70.8

(単位:千円)

高 原 町	年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	区分				
A	消防費基準財政需要額(決算額)		184,041	196,183	187,693
B	消防費決算額(決算額)		179,989	193,905	192,991
C	Bのうち消防費負担金(決算額)		130,071	133,133	136,117
		B/A %	97.8	98.8	102.8
		C/B %	72.3	68.7	70.5
		C/A %	70.7	67.9	72.5

(単位:千円)

区分	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	総			
A	消防費基準財政需要額(決算額)	1,282,787	1,353,260	1,312,138
B	消防費決算額(決算額)	1,285,924	1,264,709	1,288,162
C	Bのうち消防費負担金(決算額)	962,551	967,611	947,892
計	B/A %	100.2	93.5	98.2
	C/B %	74.9	76.5	73.6
	C/A %	75.0	71.5	72.2

消防費歳入当初予算の比較

(単位:千円)

款	節	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年比
分担金及び負担金	消防費負担金	934,722	917,120	891,602	-25,518
使用料及び手数料	消防手数料	640	319	439	120
国庫支出金	消防費補助金	1	1	1	0
県支出金	消防費県補助金	1	1	1	0
財産収入	利子及び配当金	309	90	27	-63
繰入金	消防施設等整備基金繰入金	30,000	0	0	0
諸収入	雑入	23,273	24,760	25,346	586
組合債	消防・防災施設事業	100,000	1	1	0
	合計	1,088,946	942,292	917,417	-24,875

消防費歳出当初予算の比較

(単位:千円)

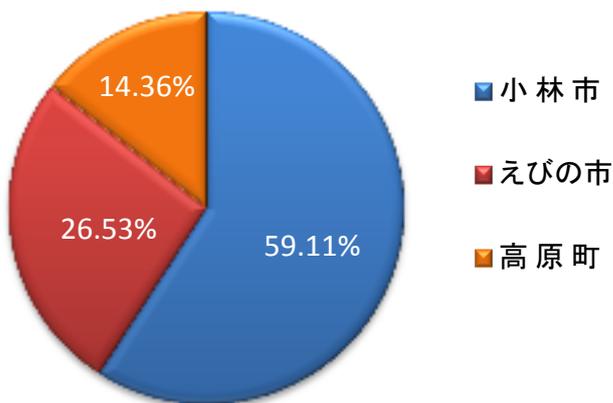
款項目	節	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年比
消防費		1,088,946	942,292	917,417	-24,875
常備消防費		901,666	935,348	910,269	-25,079
	報酬	1	1	1	0
	給料	431,461	426,007	394,997	-31,010
	職員手当等	274,524	275,566	257,447	-18,119
	共済費	139,163	146,640	138,283	-8,357
	報償費	10	10	10	0
	旅費	6,829	9,702	6,363	-3,339
	需用費	25,332	27,775	29,933	2,158
	役務費	5,126	13,180	13,127	-53
	委託料	1,004	952	11,751	10,799
	使用料及び賃借料	2,337	3,339	3,617	278
	原材料費	111	66	66	0
	備品購入費	10,122	22,582	42,863	20,281
	負担金補助及び交付金	4,894	7,516	11,109	3,593
	補償補填及び交付金	1	1,405	1	-1,404
	積立金	112	37	11	-26
	公課費	639	570	690	120
消防施設費		187,280	6,944	7,148	204
	需用費	1,834	1,750	2,000	250
	役務費	4,750	463	480	17
	委託料	5,941	636	637	1
	使用料及び賃借料	1,790	3,052	2,938	-114
	工事請負費	13,268	615	1	-614
	備品購入費	159,500	375	1,076	701
	積立金	197	53	16	-37

管内市町歳出決算額と消防費の割合 (平成23年度)

(単位:千円)

市町村	A. 一般会計歳出決算額	B. 消防費決算額	
		C. うち消防費負担金	B/A %
小林市	24,311,705	746,988	3.1
		560,279	2.3
えびの市	11,182,259	348,183	3.1
		251,496	2.2
高原町	6,134,268	192,991	3.1
		136,117	2.2
合 計	41,628,232	1,288,162	3.1
		947,892	2.3

市町別消防費負担金割合

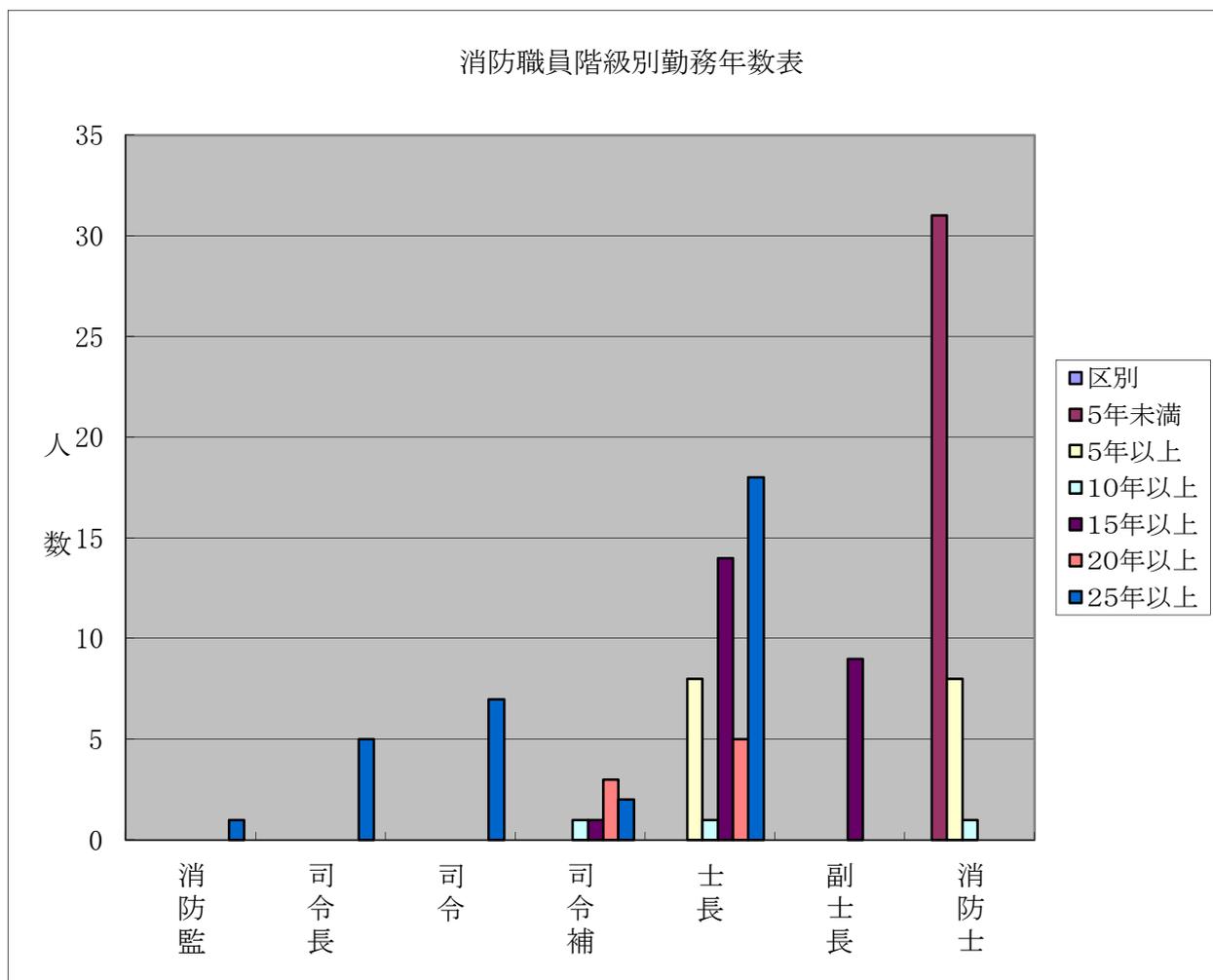


市町名	負担金 (千円)
小林市	560,279
えびの市	251,496
高原町	136,117
合 計	947,892

消防職員階級別勤務年数表

平成24年12月31日現在

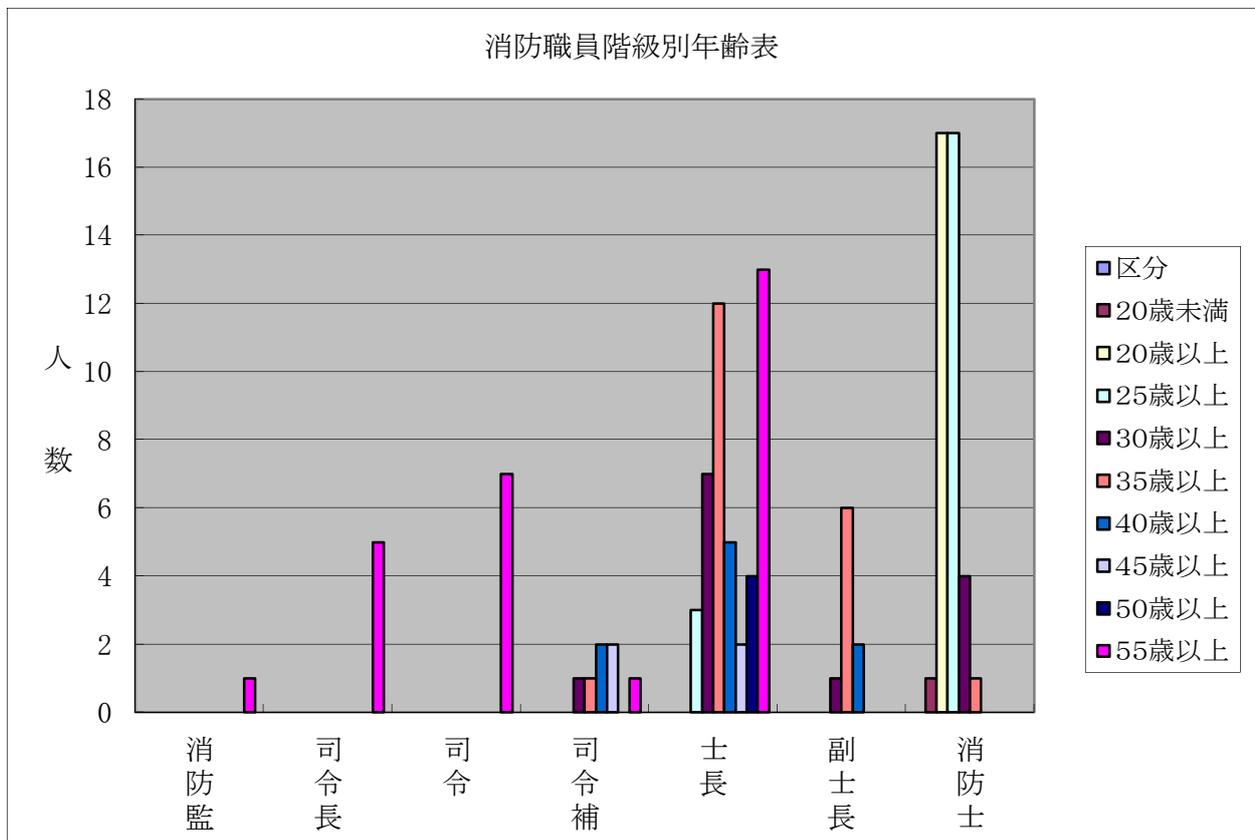
階級 區別	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
5年未満							31	31
5年以上					8		8	16
10年以上				1	1		1	3
15年以上				1	14	9		24
20年以上				3	5			8
25年以上	1	5	7	2	18			33
計	1	5	7	7	46	9	40	115



消防職員階級別年齢表

平成24年12月31日現在

階級 区分	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
20歳未満							1	
20歳以上							17	17
25歳以上					3		17	20
30歳以上				1	7	1	4	13
35歳以上				1	12	6	1	20
40歳以上				2	5	2		9
45歳以上				2	2			4
50歳以上					4			4
55歳以上	1	5	7	1	13			27
計	1	5	7	7	46	9	40	115
平均年齢	60	57.6	56.6	43	43.9	37.5	25.2	46.3



歴代消防長（含事務取扱者）

消防長名	就任年月日	退任年月日	備考
窪谷達郎	昭和47年10月26日	昭和48年 4月 4日	消防長心得
新留時盛	昭和48年 4月 5日	昭和50年 5月31日	消防長
窪谷達郎	昭和50年 6月 1日	昭和54年 2月19日	中央消防署長兼 消防長心得
窪谷達郎	昭和54年 2月20日	昭和57年 3月31日	消防長
別府鉄朗	昭和57年 4月 1日	昭和58年 4月24日	消防長事務取扱者
森 祐一郎	昭和58年 4月25日	昭和58年 6月30日	消防長事務取扱者
松田利夫	昭和58年 7月 1日	昭和60年 3月31日	消防長心得
松田利夫	昭和60年 4月 1日	昭和61年 1月26日	消防長
中山藤作	昭和61年 1月27日	昭和62年 6月30日	消防長
角井 勇	昭和62年 7月 1日	昭和63年 3月31日	消防長
内竹孝雄	昭和63年 4月 1日	平成 元年 7月31日	消防長心得
内竹孝雄	平成 元年 8月 1日	平成 4年 3月31日	消防長
清水常喜	平成 4年 4月 1日	平成 6年 3月31日	消防長
山下末男	平成 6年 4月 1日	平成 9年 3月31日	消防長
鷗野富吉	平成 9年 4月 1日	平成11年 3月31日	消防長
鵜木義幸	平成11年 4月 1日	平成13年 3月31日	消防長心得
鵜木義幸	平成13年 4月 1日	平成14年 3月31日	消防長
貴嶋俊介	平成14年 4月 1日	平成22年 3月31日	消防長
原田利男	平成22年 4月 1日	平成23年 3月31日	消防長
里岡弘幸	平成23年 4月 1日	平成24年 3月31日	消防長
柚木脇充	平成24年 4月 1日	現在に至る	消防長